

第6保健事業

予算科目	事業分類注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者						事業費(千円)	実施状況・時期			評価注2)	
				資格	対象事業所	性別	年齢				対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康 診 査 事 業	1,2	健康保険委員会の実施	令和6年度の実績を検討し、保健事業への参加、健康づくりへの意識の向上を目指す。コラボヘルスの拡充を図る。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	427	令和7年6月25日開催 参加者数 30名 第1部 健康スコアリングレポート報告と令和7年度新規事業について 第2部 認知症VR体験会（外部委託） 令和8年2月25日開催 参加者37名 第1部 令和8年度 保健事業について 第2部 年金セミナー（外部委託）	・第2部の講義内容の選定（座学だけではなく、VRによる「体験型」を取り入れた内容） ・新規事業の案内や加入員の健康に関する課題に対し対策を提案	・開催時期を検討 ・第2部の講義について、アンケートをとり、要望の多い講義が開催できるよう検討 ・保健事業に関係する内容ではないが、年金関連の講義を第2部で実施した ・事業所訪問し、健康保険委員加入を促進する	1
	2	特定健診	令和6年度の実施状況を踏まえて、受診率の向上及びメタボのリスク減少を検討しつつ継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	61,058	対象者数 16279名 受診者数 11991名 実施率 73.7%	・各健診コースに特定健診項目を含んでいる ・毎年3月頃、加入事業所に新年度の健診案内の冊子を送付、ホームページに掲載	特に受診率の低い被扶養配偶者、健診受診習慣のない加入者に、受診の重要性を広報する工夫が必要	3
特定保健 指 導 事 業	2	特定保健指導	令和6年度の実施状況を踏まえて、指導の実施率の向上と健康状態の改善を検討しつつ継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	21,920	・動機付け支援 該当者 1079名 初回面談実施者 210名 ・積極的支援 該当者 1786名 終了者 370名 ・実施時期 通年	・支援対象者について、事業主の協力のもと事業所へ案内を通知 ・3～4ヶ月後未受診の場合は、対象者の自宅に事業主と当組合理事長の連名で、受診勧奨通知を送付	・特定保健指導に対する意識が事業所ごとに異なるため、受診率が上がらない傾向 ・事業所訪問することで受診率が上がっているため、引き続き訪問する	2
	3,4	生活習慣病予防の「メタボ対策と体力増進」健康セミナー	令和6年度の予防セミナーの開催結果を踏まえて、セミナーを継続開催する。	-	全て	男女	40	～	74	基準該当者	203	2回開催 ・開催時期 6月、2月 ・第1部（健保委員会）では当組合の保健事業についての説明と健診並びに保健指導の受診勧奨を行った ・第2部で開催 ・2回合計 52事業所 67名参加	・6月 認知症に関するセミナー ・2月 年金に関するセミナー	・参加者を増やすため、第2部では目的から遠い内容のセミナーとなってしまった	1

予算科目	事業分類注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			評価注2)		
				資格	対象事業所	性別	年齢			対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	2	機関誌・ホームページ	令和6年度の実績を検討し、健保情報と医療費等に関する情報提供に向けた広報づくり。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	9,855	【機関誌】 ・年4回 春、夏、秋、冬号発行 ・事業所経由で被保険者へ ・被扶養配偶者には自宅へ郵送 ・発行日当日に、ホームページに掲載 【ホームページ】 ・委託事業者のフォーマットにより常時公開	【機関誌】 ・毎号、目を引くような構成を工夫 ・全ページオールカラーで作成 【ホームページ】 ・お知らせ欄の内容は随時更新 ・健診等情報やイベント情報をリアルタイムで告知	【機関誌】 ・毎号見ていただいている加入者もいれば、まったく見ない加入者も一定数いると思われる ・事業所から被保険者に渡すタイミングを組合側でコントロールできないため、配布が遅くなるだけでなく、そもそも渡してくれているか不明 ・編集側（委託事業者）の提案力の低下傾向が見られる 【ホームページ】 ・アクセス数（セッション数）は確実に増えているが、ページごとのアクセス数としては以下のとおりで健診関係が最上位ではない。 1位・・・医療費の確認（医療費控除） 2位・・・各申請書ダウンロード 3位・・・健診関係	3
	2,7	ウェブ版「医療費通知及びジェネリック医薬品の差額通知」の実施	令和6年度の効果削減分析により、切り替え率の低い年齢層を中心に、差額通知を発送する。医療費通知は、直近の受診記録が早く見られるようにして適正受診等の向上を図る。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	432	・ホームページ上のウェブ版にて年12回医療費通知・調剤の差額通知をお知らせ ・年間5,000円以上の差額が見込まれる加入者へジェネリック医薬品使用促進通知件差額通知書を年1回9月に送付	・ホームページからアクセスすることで、自己の医療費の状況が簡単に確認できる ・ジェネリックに切り替えた効果額が明確にわかる	多くの加入者に関心を持ってもらうよう、広報等の強化が必要	3
	2	ポータルサイト「マイヘルスウェブ」	令和6年度の実績状況をみて、サイトへの登録率及び保健事業への参加率の向上を検討しつつ継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	3,561	・委託業者と連携し、健康に関する情報を毎月更新し加入者へ配信（個人の健診結果・医療費、ジェネリック情報・イベント等） ・スマホウォーキング大会 年2回春・秋 参加人数 2大会合計1,832名 ・大抽選会 8月実施 応募者1,178名 ・アンケート 2月実施 回答者 556名	・健康意識の向上 ・インセンティブ ・健診結果や健康情報がいつでも気軽にみられる	登録者が少ないため、広報の強化が必要	3
	1,2,3,4,5,7,8	健康推進優良事業所表彰制度	令和6年度の実施状況を検討し、評価基準項目の見直しを行い、継続実施し健診受診率の向上を目指す。	被保険者	全て	男女	0	～	74	全員	43	・当組合との協働により健診および特定保健指導に積極的に取り組み、メタボ対策を実施した事業所を対象に表彰 ・対象期間 4月から翌年3月	・機関紙に掲載することで、加入事業所に対し健康増進への取り組みを促すことができる ・事業所訪問をすることで、課題共有や改善の提案を示すことができ、さらなる協力を得ることができた	健康保険委員に登録していないが、受診率が高い事業所が対象にならないため、表彰の対象の見直しが必要（令和7年度、全加入事業所対象）	4
	2	「禁煙チャレンジ」イベント	令和6年度の実施状況をみて、イベント内容を見直し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	20	～	74	全員	40	・禁煙外来を受診（5回受診） ・実施期間 4月～翌年3月（年度内1回限り） ・達成者は次年度以降申し込み不可	禁煙達成者に20,000円、失敗者にチャレンジ賞として4,000円クオカードを進呈	・広報不足 ・喫煙率が高いため、禁煙の重要性を周知していく必要がある	1
疾病予防	2	インフルエンザ予防接種補助金	令和6年度の実施状況を踏まえて、接種による効果検証を行い、継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	6,174	・実施期間 10月から翌年3月 ・受診者 3022名	機関誌、ホームページで広報補助額増	東振協契約医療機関が地方に少ない	3

予算科目	事業分類注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者						事業費(千円)	実施状況・時期				評価注2)	
				資格	対象事業所	性別	年齢				対象者	実施状況・時期		成功・推進要因		課題及び阻害要因
	2,3	検体検査キットの提供	令和6年度の実施状況を踏まえて、受診の効果等について検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	20	～	74	全員	392	検査実施者 ・子宮頸がん 27名 ・前立腺 43名 ・胃がん 63名		機関誌、ホームページ等で広報1項目につき、1,000円の自己負担で検査できる	検査の重要性と受診勧奨が必要	2
	3	東振協(人間ドック)D1コース(特定健診を含む)	令和6年度の実診状況を踏まえて、受診率の向上を検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	86,839	・受診者数 5047名 ・実施期間 4月から翌年3月(年度内1回) ・受診者一部負担 20,000円		特定健診を含む充実した健診項目	地方に契約医療機関が少ないため、引き続き東振協へ打診	4
	3	東振協(生活習慣病予防健診)Bコース(特定健診を含む)	令和6年度の実診状況を踏まえて、受診率の向上を検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員	89,772	・受診者数 6,275名 ・実施期間 4月から翌年3月(年度内1回) ・受診者一部負担 5,000円		特定健診を含む充健診項目	地方に契約医療機関が少ないため、引き続き東振協へ打診	5
	3	東振協(春季・秋季婦人生活習慣予防健診)Cコース(特定健診を含む)(婦人科検査を含む)	令和6年度の実診状況を踏まえて、受診率の向上を検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	女性	30	～	74	全員	17,561	・受診者数 1,299名 ・実施期間 春季、秋季(年度内1回) ・受診者一部負担 5,000円		・婦人科検査項目を含む充実したコース ・該当被扶養者には、機関誌に同封し案内を自宅へ送付	・婦人科検査への抵抗感 ・婦人科がん検査の必要性を周知していく必要がある	4
	4	東振協(一般健診)A2コース(特定健診を含む)	令和6年度の実診状況を踏まえて、受診率の向上を検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	34,861	・受診者数 4,087名 ・実施期間 4月から翌年3月(年度内1回) ・受診者一部負担 1,000円(40歳以上は無料)		・安価で受診できる ・特定健診項目を含んでいる ・労安法で定められた健診項目を満たした基本的な健診	地方に契約医療機関が少ないため、引き続き東振協へ打診	5
	3	健康診断の補助金制度	令和6年度の実診状況を踏まえて、受診率の向上を検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	17,320	・受診者数 1,312名 ・実施期間 4月から翌年3月(年度内1回) ・健診料金の一部補助 一般健診 6,000円 9,000円(40歳以上) 特定健診) 生活習慣病 15,000円 16,000円(40歳以上特定健診)		東振協契約外健診機関で受診した場合にも補助が受けられる	・補助金制度の広報の仕方 ・東振協契約健診機関が近くにある場合の対応	3
	3	奥さま補助金制度	令和6年度の申請状況を踏まえて、申請件数の向上を検討し継続実施。	被保険者・被扶養者	全て	女性	30	～	74	全員	216	・補助金申請者 72名 ・補助金額合計 216,000円(ひとり3千円) ・実施期間 4月から翌年3月(年度内1回)		・インセンティブを贈呈	制度の周知を強化する	2
	3,4	歯周病リスク検査	機関誌にて広報・申し込み案内(自己負担:1,000円)	被保険者・被扶養者	全て	男女	20	～	74	全員	109	年度初頭刊行の機関誌において案内し、上記「実施計画」のとおり実施した。申込締切は6月末日、期限は年度末まで		成功要因はない	無償で実施していた令和5年度に比べて格段に受検者は落ち込んでいる	2
	3	脳ドック(脳検査補助金)	組合HPや機関誌にて広報し、①については東振協を通して補助、②については補助金申請書を組合に提出する形で補助	被保険者・被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	1,393	ホームページにて常時掲載し、「実施方法」及び「実施計画」のとおり通年で実施した。		東振協以外の任意の機関での検査にも対応	そもその検査費用の高さと、毎年行う必要のないため受検者数は微増傾向にとどまる	2
	8	スポーツクラブ(法人会員)	令和6年度の利用者を集計・検討し、より多くの新規利用者にも活用してもらえるよう広報を充実させる。	被保険者・被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	1,452	会員数 ・コナミスポーツ 118名 ・ルネサンス 89名 ・ジェクサー 9名 ・メガロス 7名 合計 223名		・法人会員料金で利用できる ・運動のきっかけづくり	利用者が少ないため、広報を強化する必要があるが、限界があると思われるため、経費削減を含めた契約の見直しも必要と思われる。	2

予算科目	事業分類 注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者						事業費 (千円)	実施状況・時期				評価 注2)
				資格	対象 事業所	性別	年齢				対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	8	ウォーキング大会	令和6年度の利用者を集計・検討し、より多くの新規利用者にも活用してもらえるよう広報を充実させる。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	23,658	・潮干狩り R7.3.29～7.13 参加人数 1052名 ・関東さくらんぼ狩り R7.6.9～7.6 参加人数 1523名 ・北海道さくらんぼ狩り R7.7.5～7.31 参加人数 61名 ・大磯ロングビーチ R7.7.5～8.31 参加人数 759名 ・シャインマスカット狩り R7.9.1～9.30 参加人数 1974名 ・関東みかん狩り R7.11.1～11.24 参加人数 1355名 ・大阪海遊館 R7.9.1～12.24 参加人数 202名 ・いちご狩り R8.1.17～3.15 参加人数 2495名 ・ディズニーコーポレート R7.7.1～12.31 利用人数 868名	参加者が増えるように開催時期を検討して実施している。また、当年度からディズニーコーポレートプログラムを契約して実施した。	・開催場所の検討 ・参加者の固定化が見受けられる	5
	5	健康づくり事業 奨励補助金	令和6年度の利用状況を検討し、健康増進のため多くの新規参加者にも参加してもらえるよう広報を充実させる。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	3,252	・実施件数 49件 ・実施人数 1084名 ・実施期間 4月～翌年3月まで 年度内1人2回まで	事業所単位で従業員の健康づくりができる	広報を強化	4
	1	石油健保フットサル大会	令和6年度の開催状況を見直して、滞りなくスムーズに開催できるよう検討し継続実施する。	被保険者	全て	男女	18	～	(上限なし)	全員	900	・開催日 11月16日(日) ・開催場所 千葉県市川市 ・参加チーム数 20チーム	・従業員のコミュニケーションが図れる ・健康の保持、増進	開催場所の検討 負傷者への対処	5
直営 保養所	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-	-	-	-	-	-
その他	8	契約保養所利用 補助金	令和6年度の利用者を集計・検討しより多くの新規利用者にも活用してもらえるよう広報を充実させる。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	2,552	・年度2泊まで(4月から翌年3月) ・利用者数 JTB 161名 ラフォーレ 132名 そのほか契約保養所 214名	・加入者の心身リフレッシュが図れる ・インバウンドで宿泊料金が高騰しているため、1泊5,000円の補助が大きい	・当年度から新たな事業者(施設)と契約したため、前年度よりは利用が増えたが、減少傾向の流れは変えられず。 R6:579名 → R7:800名	3
予算 措置なし	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-	-	-	-	-	-

予算科目	事業分類 注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	実施状況・時期			評価 注2)
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 40%未満 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%